

# デリカ D:5 F16R16.5/32mm LIFTUPkit 構成説明書

## 注意事項

本商品は自動車整備士資格 3 級整備士相当の技能をもった方が、取り付けすることを前提としています。本書は、一般的な作業等については明記しておりません。フロントホイールアライメント点検を行ってください。本品は改良のため予行なく仕様が変更になる場合があります。本品は加工を必要とします

## 商品の構成

対応車種：三菱 デリカ D:5 2WD/4WD CV1W/CV2W/CV5W 全年式 マイナー後 3DA-CV1W 対応  
★本キットはメンバーダウン量は F16mmR32mm となっております。



## 前取り付け要領 ご参考

★パーツ/ボルト関係は 構成表をご参照ください

### 取り外し主要部品

- \*エアクリーナーケース+バッテリー+ワイパーユニット+その他補機類 エンジンミッションマウントが分解できるように
- \*初期型ガソリン車のみ オルターネーターアースコードが ラジエーターコアサポート右にマウントされている/マイナー後サスペンションメンバー左 ECU カバー 取り外す
- \*Fストラットを外してから F レベライザーロアアーム側+ステアリングシャフト
- \*マフラーハンガーは R メンバー部以外は 取り外す 配線関係
- \*ラジエーターホース UP マウント DT 車インタークーラーパイプ関係 プロペラシャフトマウントは 外さなくとも可能ですが その場合作業時メンバーを下げすぎないように注意

\*ダウンブロック関係取り付けは任意ですが 当社手順は

- 1.エンジンマウント+スタッドボルト取り外し
- 2.キットエンジンブロック+エンジンマウントエンジン側仮付
- 3.標準ミッションマウント分解 = 標準ミッションマウントは外さずにスタッドボルト取り外可能ですが 作業的に手こずる場合は取り外し (スタッドボルトを取り外した状態で ミッションブロック エンジンマウント標準マウントの位置がおおよそ出ている場合は 4.メンバー系は外さずに 5.6.作業)
- 4.メンバー-M14 マイナー前Fメンバー マイナー後サイドサポート左右 ボルト 取り外し
- 5.キットミッションブロック仮付
- 6.エンジンマウントボディー側標準マウント仮付
- 7.メンバー/サイドサポート キットブロックを使用し仮付  
#各マウントボルト締め込みは 位置関係を出すために 少しずつ行わないと サスペンションジオメトリが狂う 車体振動が発生 等があります 推奨本締め順 エンジン+ミッションマウント/メンバーサイド/フロント.サイドサポート
- 8.ステアリングシャフトはストラット ASSY より先に取り付けると センターが狂いづらいです

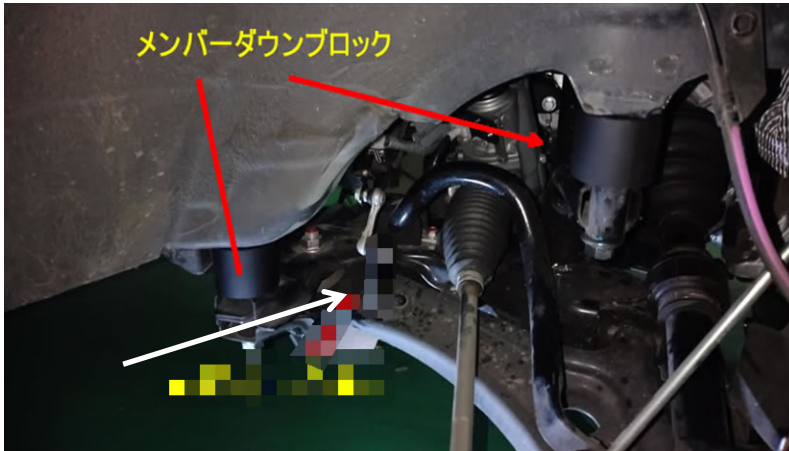
# デリカ D:5 F16R16.5/32mm LIFTUPkit 構成説明書

★装着画像は 確認押のし易い 旧キット 赤を使用している場合があります

## ミッションマウント



## エンジンマウント



左メンバーダウンブロック = 画像は旧 2inch 用 本キットは □L40W32h16Φ15 になります L40 を 横方向に 組み込む 白→F レベライズステー黒 ⑥ 標準レベライズレバーが 標準同等角度になるように

左下マイナー前 Fメンバーブロックは旧 2inch 用本キットは⑤ 2P

右下マイナー後 サイドサポート



ステアリングシャフトとバルクヘッドの クリアランスに余裕がないので 左図赤ラインを参考にバルクヘッドを加工

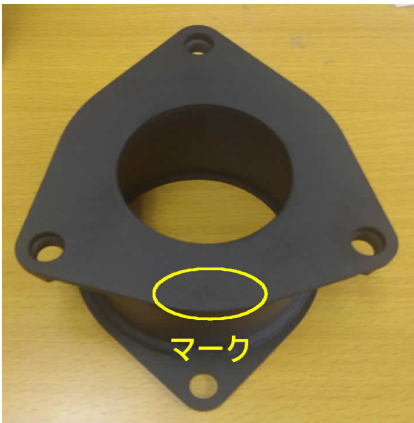
+ラバー取付プレートは ステアリングの動きを確保するためにバルクヘッドより一回り大きくカット = ただしラバーがあたる部分は残す

+全車 右下ボルトは 固定をするとユニバーサルジョイントに干渉しますので 固定しない

★バルクヘッド+プレートの加工及び 車両個体差により ステアリングシャフト スプラインが 若干突出する場合がありますが 抜けドメは 必ず取り付け



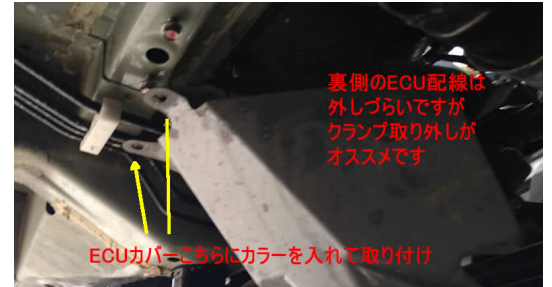
# デリカ D:5 F16R16.5/32mm LIFTUPkit 構成説明書



ストラットスペーサーキャンバー角補正のため プレートが オフセットしています左図 マーク部 を 上 エンジンルーム側に 下からみていただくとオフセットが確認できます

★16mm スペーサーは 別紙参照

★マイナー後 3DA-CV1W のみ ↓ →



上 ECU カバー M10 ナットをカラーとして M8x30 ボルトにて 取り付け  
左 インタークーラーパイプ 右前下が ラジエーターコアサポートとの余裕がないので パットを取り付け (任意 サービス品)



アンダーカバー取り付けは、各取付位置が 16mm 下がっているため 任意ですが 当社取り付けは 全車 サイドプカバー上部を標準位置に 固定

\*マイナー前 アンダーカバはメンバー部は標準取り付け サイドカバー部は基本標準取付ですが 穴位置が合わない場合は タイラップ

フロントカバーは バンパー下はボルト部分は 標準 クリップ部分は 取付不可の場合は タイラップ フロント/サイドカバーの固定はタイラップ Fカバー前側は必要があればカット

\*マイナー後 サイドプカバー上部を標準位置に固定 下部はサイドサポートにタイラップで固定ですが完全に結束しない

アンダーカバー取り付け穴と重なるため アンダーカバー 通常取り付け サイドカバータイラップ結束 前側は 前方クリップはそのまま使用 後方はタイラップ等にて固定 上図はマイナー後

★マイナー前 ラジエーターホース上マウント及び D/T インタークーラーパイプの取り付けは 個体差によりステアの曲げ微調整が必要な場合があります

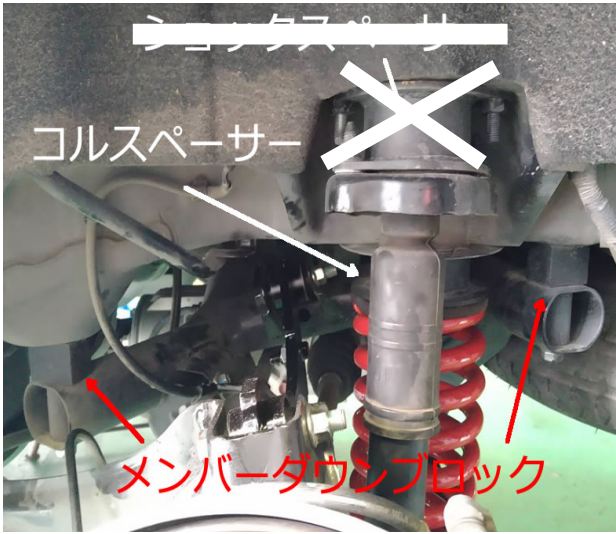
★ご参考 F ドライブシャフトブーツ に ドライタイプの潤滑スプレーを吹き付け (呉 ドライファストルブ 等) しますと ブーツ寿命が伸びます (Fブーツは標準でも切れるときは切れますので)

★F ストラット アッパーマウント部に モリブデンタイプの潤滑剤をスプレーしますと 異音防止になります

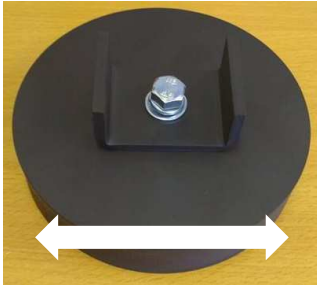
★5年5万キロ以上走行している車両及びダンパー/コイルスプリングを交換する場合は F アッパーマウント樹脂ベアリング 4060A711 三菱純正 2020/6 現在 960円 を 交換されることをおすすめします 交換されない場合は上記モリブデン塗布を

# デリカ D:5 F16R16.5/32mm LIFTUPkit 構成説明書

## 後取付け要領 ご参考



- 1.コイルスプリング、ショックアブソーバー、ヘッドライトレベライザー、マフラーハンガー (R メンバー部以外)、サイドブレーキワイヤーRメンバー固定部その他補機部分、配線等、を取り外してください。
  - 2.サスペンションメンバー固定ボルト、トレーリングアームマウントボルトを 取り外しますがメンバー部とデフ前側にフロアジャッキをあて メンバーが落ちないように
  - 3.R メンバー後側ダウンブロックから行き仮止め状態にしたままで前側を仮付 ブロックは発売時期により ○ □ あり = 構成表確認
  - 4.トレーリングアームブロックは 現在は◎
- \*組み込みはサスペンションジオメトリに影響しますので 各部を複数回に分けて締め込  
\*左右車速配線は ボディー横側固定グロメット取り外しで 右 R レベライザー配線は上がわグロメット部テーピングを外し 室外側に引っ張りだしますその後その他のパーツを組み込んでいきます。



コイルスパーサー組み込み  
16.5mm マウント部は 70Φ  
32mm 溶接構造 スプリング上  
インシュレーターをコイルスパーサーに取り付けてから スプリングに取り付け  
32mm コの字マウントは荷重分布の関係から左図の位置で短辺を横方向に取り付け 現在は開口部にも 折り返しがあります



### R ショック

ショックスパーサーではなく 標準ショックマウント (左) と キットショックマウント (右) の 交換になります ガイド付き側が上  
ショックマウント作業性向上のためにM10P1.25ネジ山をたてていますが作業補助用ですので 必ず室内側ナット締め付け時はレンチ使用

### マフラー関係

(21)汎用ステー → (22) JURAN#32877 使用

\*左右配線は 右 R レベライザー配線はきつい場合は室内側配線を引っ張りだします その後その他のパーツを組み込んでいきます。その他補機部分、配線等を取り回しを考慮しながら組み込む。

\*ガソリン ~2012年6月 のみ R レベライザーステー (15) 標準レベライザーが 標準同等角度になるように取り付け

アドグルータンクガード メンバ~ダウン 16mm 左フックは通常 前方はややきついですが 通常取り付け右側は キット付属の M10x19 カラー+下側に M10 ワッシャーをタンクガード上に挿入 M10L40 ボルトで仮組み 左標準ボルト取り付け バンパー部は 標準ボルトで組み込み すべてのボルトが組込できたら 本締め

### メンバーダウン 32mm 別紙参照

ホイールアライメント点検を行ってください。必要であれば調整を行う。前輪アライメントが必要な場合は 別途キャンバーカムボルトが必要です。

R キャンバー メンバーダウン量 = スパーサー高さ標準相当になります +コイルスプリング = スプリングに依存します

★後輪は調整の必要があれば、標準アンカーボルトにて調整 及びメンバーダウンブロック固定ボルトを緩め位置関係をずらすことにより、トーイン+キャンバー微調整が可能です。

以上となりますが、ご不明の点はお電話にてお問い合わせください。

**ご注意ください 取説は WEB 等で公開しているものは 最新のものでない場合があります 商品添付は最新になります**